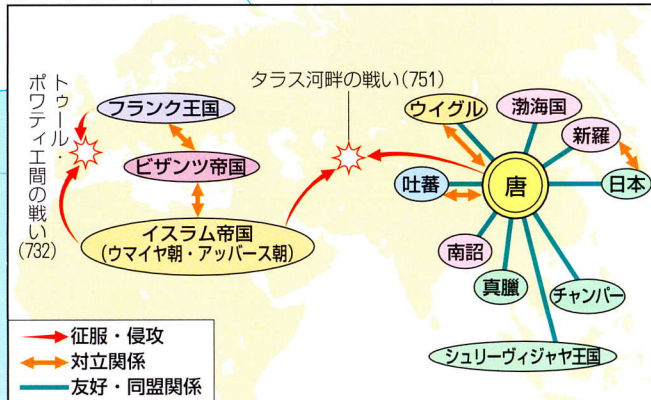
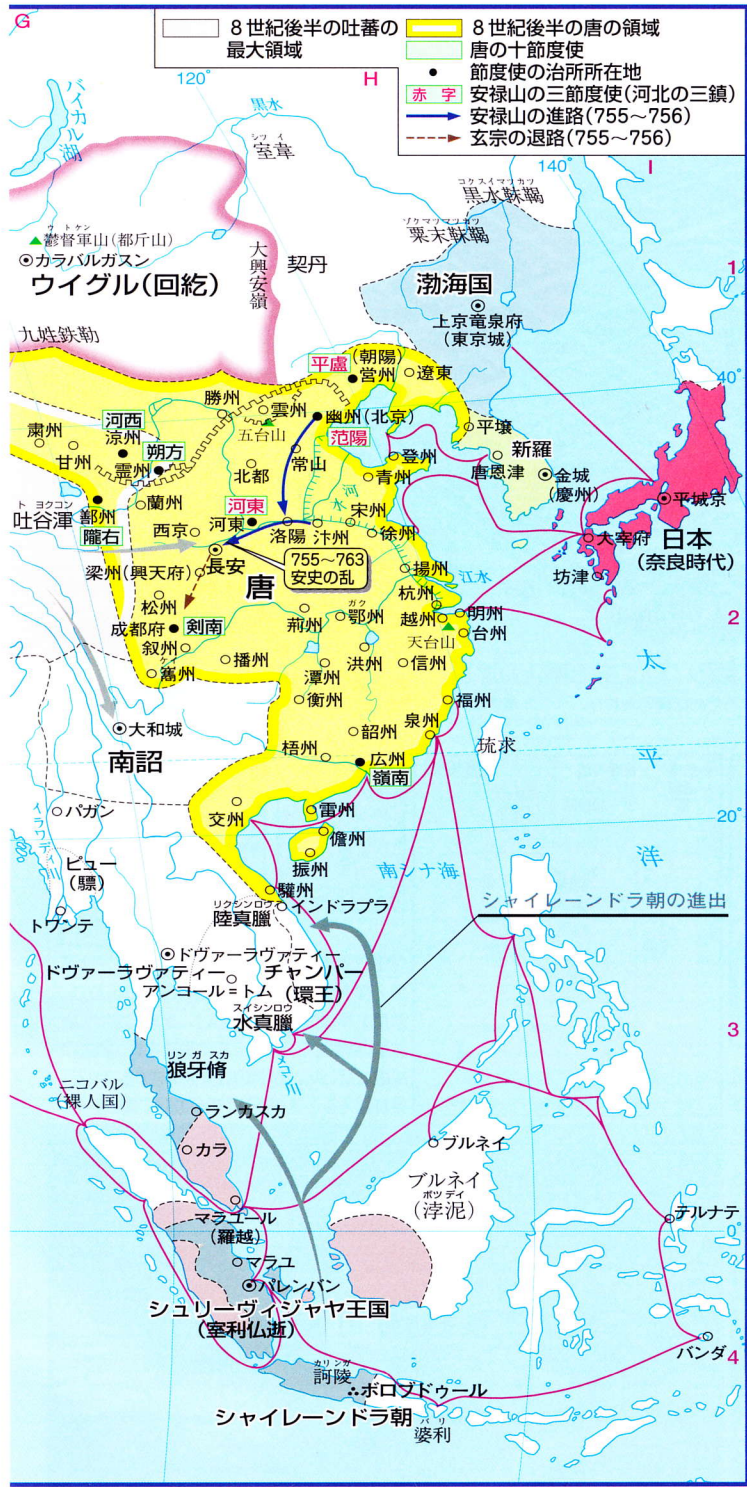


● 8世紀の概観



- ①カール大帝の西欧文化圏、アッパース朝のイスラム文化圏、唐の東アジア文化圏が並立
- ②8世紀後半より唐は衰退[ウイグル(回紇)・吐蕃(チベット)の侵入, 安史の乱]

世紀	7	8	9
西ヨーロッパ	フランク王国	後ウマイヤ朝	ビザンツ帝国
東ヨーロッパ	ウイグル(回紇)	ウイグル(回紇)	ウイグル(回紇)
中東	アッパース朝	アッパース朝	アッパース朝
南アジア	シユリーヴィジャヤ王国	シユリーヴィジャヤ王国	シユリーヴィジャヤ王国
東アジア	唐	唐	唐
東南アジア	新羅	新羅	新羅
南アジア	南詔	南詔	南詔
東アフリカ	アッパース朝	アッパース朝	アッパース朝
西アフリカ	アッパース朝	アッパース朝	アッパース朝
インド洋	インド	インド	インド



# 1 冊封体制

●基本理念…周辺異民族は中国皇帝の徳に同化し、慕うべきである(中華思想・徳化思想)。  
●唐と異民族との力関係により、羈縻政策・冊封・朝貢・使節の交換などの形があった。

- ① 都護府を置き、服属した部族長の統治を監督する(領域内)
- ② 冊封 朝貢する周辺民族の族長に官号や爵位を与え君臣関係を結ぶ(領域外)
- ③ 朝貢 唐に使者を派遣し交易のみ行う(貢物を上回る返礼品が下賜される)
- ④ その他 (1)公主降嫁による舅嬖関係を締結(家人の礼を結ぶ) (2)使節の交換、留学生の派遣中心

**ウイグル(回紇) (744~840)**

- トルコ系 ●安史の乱で唐を援助
- キルギスに侵入され滅亡(840)
- ウイグル文字…ソグド文字に由来
- マニ教を信仰

**突厥(552~744)**

- トルコ系 ●東西に分裂(583)
- 東突厥 唐に服属(630)
- 西突厥 唐が討伐(657)
- 突厥文字…アラム系(オルホン碑文)

**渤海国(698~926)**

- ツングース系 靺鞨人と高句麗の遺民を含む
- 大祚栄が建国
- 都: 上京竜泉府
- 仏教導入
- 日本と通交

**ヴァルダナ朝(インド) (606~647)**

- ハルシャ王、唐に使節派遣

**吐蕃(チベット) (7~9c)**

- ソンツェン=ガンボが建国
- ポカラ宮殿建設
- 都: ラサ
- 唐の文成公主が降嫁(646)
- チベット文字(インド文字を範)
- チベット仏教(ラマ教)…インド系
- 唐蕃会盟(821~822)

**南詔(8c~902)**

- チベット・ミャンマー系
- 雲南に建国
- 漢字・仏教の導入
- 大理国が後継国

**新羅(356~935)**

- 都: 慶州(金城)
- 朝鮮半島統一(676)
- 仏教文化(仏国寺・石窟庵)
- 骨品制(身分制度)

**日本(遣唐使)**

- 645 大化の改新, 班田収授の法
- 663 白村江の戦い(敗北, 百濟滅亡)
- 701 大宝律令(律令国家体制)
- (白鳳文化)
- 710 平城京(天平文化)
- 894 遣唐使の廃止(国風文化)

**クメール王国(真臘) (802~1432)**

- クメール人
- 唐に朝貢

**チャンパー(2~17c)**

- チャム人
- 唐に朝貢
- 海上交易で栄える



**文成公主**  
唐の太宗の娘として吐蕃王ソンツェン=ガンボに嫁ぎ、中国技術・仏教の導入や唐と吐蕃両国の和平に尽くした。今日でも人々に慕われている。

**賓客図**  
(章懐太子墓の壁画)  
世界帝国の都長安には、遠方より異民族が貢物をさげやってきました。



**当時の日本 国際人 仲麻呂(698~770)**

阿倍仲麻呂は717年遣唐留学生として日本を出発した。長安の大学で学び、科挙合格後は唐の高級官僚(鎮南都護が最終)となり、李白・王維らと交わった。帰国の願いも空しく、望郷の念を抱きながら長安で没した。

**復元された遣唐使船**  
(広島県建造)

**鑑真像(唐招提寺)** 鑑真は日本に戒を授け律を伝えるため、5度渡航を試みるが失敗し、その折失明した。753年、6度目の渡航で来日を果たし、聖武上皇らに戒律を授けた。

**阿倍仲麻呂**  
(富岡鉄斎画1914年)